



大内中だより

Webページはこちら→



さつきの丘

令和7年3月11日
第46号

大内中学校 第10期卒業証書授与式より



答 辞

大地の穏やかな温もりと降りそそぐ暖かな日差しに、春の気配を感じる今日、私達五十八名はこの学び舎から巣立ちます。三年前、新しい環境への期待や不安を胸に迎えた入学式。大好きな仲間や先生とここで出会いました。出会った仲間とすぐに打ち解け、大きな不安は明日への希望に変わりました。また、初めての部活動や行事を通して、先輩方から多くのことを学び、先輩の偉大さを知りました。中学校での生活に慣れ、後輩ができた二年生。人をリードすることが増え、臨時委員会を開くなどして、自発的に行動し、協力することが当たり前となりました。

そしていよいよ、最高学年。開校十年目という節目の年は、新しいことに挑戦し、学校を盛り上げました。五月に行われた運動会では、「勝破笑美戦」のテーマのもと、学年の壁を感じさせないエール合戦や、全員リレーが行われ、大中生の絆はより一層深まっていました。全校生徒一人ひとりが笑顔輝かせた姿は忘れられません。

修学旅行では、東京方面に行きました。ディズニーランドでは、夢の世界を全力で楽しみ、浅草や国会議事堂では、新しい物事に触れ、東京の魅力を知ることができました。緊張しながら、東京の人にインタビューをし、由利本荘市PRパンフレットを渡したことも、いい経験になりました。初めての飛行機やみんなで歩いたホテルまでの帰り道で、興奮を共有した時間も修学旅行の大切な思い出の一つです。この三日間で普段とは違う仲間の一面を知り、私たちの絆はさらに深まりました。

そして、私たちが全校の先頭として立つ、最後の大中祭。「やめられない、10(と)まらない、笑顔満祭」のスローガンを掲げ、各部門の活動が始まりました。最高の大中祭を創るために、全員で知恵を絞り、アイデアを形にしていきました。今年は開校十年目記念企画として、大内音頭を全校で踊りました。地域の方と関わることができ、とても楽しい時間でした。合唱コンクールではどのクラスも短い練習期間で、唯一無二のハーモニーを作り上げ、本番では心に響く歌を届けることができました。特に、三年生の学年合唱は、聞いた人に感動を与えることができたのではないのでしょうか。そして、有志発表では漫才やダンス、伝統となったパフォーマンスなどで会場を盛り上げました。私たちの三年間の集大成は、最高の思い出になりました。

在校生の皆さん、力になれないことがあり、頼れる先輩ではなかったかもしれませんが、信じてついてきてくれて、ありがとうございました。皆さんと過ごした時間は短くても、結ばれた絆や思い出は大切な宝物です。春からは、みなさんが大内中学校の伝統を引き継ぎ、作り上げていくことになります。仲間を信じて、いろいろなことに挑戦してください。成功は、確かな自信となり、失敗は、次につながる学びとなります。

先生方、優しく、時には厳しくご指導くださり、本当にありがとうございました。私たちに寄り添い、誰一人取り残さない授業は、学ぶことの楽しさを教えてくれました。また、どんなにささいな話でも聞き、寄り添ってくださったおかげで、私たちの学校生活は笑顔で溢れていました。校務員さん、事務の先生、図書館の先生。どんなときも安心して過ごせる環境を整え、支え続けて下さり、ありがとうございました。

お父さん、お母さん。中学生になり、少しは大人に近づいたつもりでしたが、何度も迷惑をかけ、支えてもらってばかりだったと思います。こんな私たちをいつも見守ってくださり、ありがとうございました。まだまだ未熟ですが、次のステージでも地道に努力を続け、必ず恩返しをします。もう少し、見守っててください。

そして、三年生のみんな。私たちが過ごした三年間は、目標に向かって切磋琢磨したことや、くだらないことで笑いあったこと、努力に結果がついてこなかったこともありました。どんなときも、隣にはみんながいたから、私は前を向いて、頑張ることができました。これから先、一人一人が歩いていく道は違うけれど、私たちはいつまでも仲間です。そして、共に過ごした時間はどんなものにも換えられない宝物です。本当にありがとう。

最後になりましたが、ご出席いただいた皆様のご健康と、大内中学校の更なる発展を祈念し、答辞とさせていただきます。

令和七年三月八日 卒業生代表 ○○ ○○○

送 辞（一部省略）

「勝破笑美戦(かっぱえびせん)～絆が深まるまで終われま10(てん)～」というテーマのもとに行われた運動会。応援合戦の練習では、私たち下級生に優しく、熱心に指導してくれる姿がとても頼もしく思いました。声が枯れるまで練習し、本番ではどの団も一致団結して最高のパフォーマンスをすることができました。応援合戦だけでなく、綱引きでは作戦やポジションなどしっかりと教えて下さいました。全員リレーではチーム一丸となって、次の走者へ大切にバトンをつなぎ、仲間を信じて最後まであきらめずに競技に取り組む皆さんの姿に、どんなときにも全力でがんばることの素晴らしさを学びました。

最大の学校行事である大中祭。「やめられない10(と)まらない 笑顔満祭(えがおまんさい)」のテーマのもと、部門事に準備を進め、最高の大中祭になるように一人一人が熱心に準備作業を行いました。その中でも3年生がリーダーとなって協力しながら飾り付けやポスターの作成を進める姿が印象的でした。合唱コンクールでは美しいハーモニーを響かせ、何度も練習を重ねた3年間の集大成を感じさせる圧倒的な歌声でした。中でも3年生全員で歌った「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ」はこの会場に響きわたる感動的で最高に美しい合唱でした。さらに力強い大中ソーランやバラエティに富んだ有志発表と充実したステージが続き、人を楽しませることに全力を注ぐみなさんの姿が強く心に残る一日となりました。

部活動では、私たちにいつも優しく指導して下さいました。私の所属する野球部では、練習はもちろん、応援されるチームを目指してあいさつを誰よりも早く大きくしている姿はとても印象的です。試合等ではどんなピンチの時でも声をかけ、チームを鼓舞し良い方向へ導いてくださり、「先輩はこうあるべき」という姿を私たちに示して下さいました。私が一番思い出深いのは、夏の県大会です。全校応援もあってチーム全員がやる気に満ちていました。初戦、延長タイブレークの場面で、〇〇さんが決勝打を打ったときは球場全体が盛り上がりました。その裏の攻撃も1点に抑えて勝ったときに、ベンチも観客席もハイタッチをし、「明日も勝つぞ!」という声が聞こえてきて、あのときの球場の景色は一生忘れられません。最後まで諦めない強い意志を持ち、県大会ベスト8という輝かしい結果を残した先輩方の姿は、私たち後輩の新たな目標となりました。

そして「あいさつ日本一」を目指す学校づくり。爽やかな挨拶は全校生徒の誰もが思う大内中の誇りです。特に3年生の大きな声の挨拶はいつでも私たち1・2年生のお手本でした。3年生の皆さんが学校生活の中で常に中心に立ち、私たちの心の支えとなって築き上げてくださったこの伝統は、私たちが引き継いでいきます。

本日、皆さんの旅立ちの日にあたり、私たちは感謝の気持ちでいっぱいです。私たちを今日まで支え、私たちの前を歩いてくださっていた皆さんがいなくなってしまうのはとてもさみしく、不安です。それでも、私たちはこれまで過ごした日々を思い返し、皆さんが残してくれた伝統を引き継ぎ、11年目の大内中を創っていきます。そして皆さんの後輩であることを誇りに思い、一歩でも近づけるように努力していきます。

令和七年三月八日 在校生代表 ○○○ ○○○

校長式辞（抜粋）

一つ目は「挑戦し続ける」ことです。

「挑戦は、自分を磨き輝かせるもの」。これは、昨年度から全校生徒の皆さんに、似たような言葉を何度も語り続けてきました。先日の生徒総会でも、3年生代表が1, 2年生に向けて「何でも最初は失敗することがある。でもその過程は絶対に誰かが見てくれていて、一人でどうしようもない時は、助けてくれる」と、自身が体験したことを熱く語ってくれました。失敗は、挑戦した証、行動した結果であり、自分への勳章です。うまくいかなければ、何度でもやり直せばいいのです。一度あきらめた夢に、再び挑んだ水泳選手を紹介します。名前はガブリエル・ローズ。今年のパリオリンピック出場に挑戦しました。アメリカ国内での予選と準決勝で自己記録を更新しましたが、残念ながら決勝に残ることはできませんでした。驚くべき点は、彼女が46歳であったことです。若かった過去の自分に打ち勝った瞬間でした。大会後、彼女は「人間は自分が思っている以上の力を秘めている」と話しました。これからも、さまざまな困難が、皆さんを待ち受けています。だからこそ、常に挑戦し続けてください。前向きな気持ちや姿勢が、これからの皆さんを鍛えます。失敗してもいいのです。そこから何度でも立ち上がればいいのです。そうした経験が、あなたの心を豊かにし、輝かしい未来の礎となることでしょう。

二つ目は、「選択を大事にする」ことです。

人生は選択の連続です。何か行動を起こそうとする時、人は自然に選択をしています。身の回りのものを選ぶ時も、人との関わり方も、進路や職業など自分の歩むべき道を決める時も同じです。誰かの助言であったり、誘われたりしたことであっても、人はそれを受け入れるべきか拒むべきかを選択しています。自分の責任で選び取った道を大事にしてください。そこには、まだ見ぬ多くの人、これまで知らなかった世界との出会いが待っています。あなたの可能性を高めてくれます。しかし、自分で選んだ道が、自分にとって真に価値あるものかどうかは、選んだ本人の、その後の努力にかかっています。そうした努力が、内に秘めた力を引き出し、やがて自分を磨き輝かせると信じています。

三つ目は、「自分を大切にすること」です。

ここで言う「自分を大切にすること」とは、自分の心と向き合い、自分と仲良くなること。あるいは自分を愛することです。時には一人になって、自分との対話を深め、隠された本音に気付いたり、引き出したりすることも必要です。やがてこれらは、「他者への思いやり」をいっそう深めていくことでしょう。目指すのは、自分の個性を大切に、他人を尊重しつつ、自分らしく輝ける人。自分の持ち味を生かし、より多くの人々の幸せを願い、汗を流せる人。それが「自分を大切にすること」人です。